

# 明化小学校 152年の沿革

明治 7.8.30	小石川区原町 37 番地の浄土寺を借用し、私立明化学校として創設(職員 3 名、児童 20 名)	平成 1.4.1	第 22 代校長 中村 満洲男 着任
7.9.27	公立明化小学校として開校	4.11.19	文京区研究協力校(生活科・社会科)発表
9.9.13	初代校長 関 守真 着任	5.4.1	第 23 代校長 山室 博文 着任
10.7.19	第 2 代校長 岩崎 克 着任	9.4.1	第 24 代校長 島村 正勝 着任
12.1.	第 3 代校長 荒川 謙吉 着任	12.4.1	第 25 代校長 渡邊 恒雄 着任
12.11.9	第 4 代校長 白井 義監 着任	16.2.8	器楽部・全国小学校管楽器合奏フェスティバル東日本大会出演
13.3.31	東京府小石川明化小学校と改称	16.10.15	開校 130 周年式典
13.7.1	第 5 代校長 角田 音吉 着任	17.2.10	文部科学省研究推進校・文京区研究協力校として国語科発表
13.9.3	第 6 代校長 中橋 誠 着任	平成 17.4.1	第 26 代校長 米山 和道 着任
16.10.10	第 7 代校長 伊東 忍 着任	19.2.15	全国 21 世紀・新しい時代の健康教育推進学校最優秀校として表彰
24.4.1	第 8 代校長 岡田 大五郎 着任	19.4.1	第 27 代校長 牧口 典子 着任
41.4.1	東京市小石川明化尋常高等学校となる	21.2.24	東京都小学校社会科研究会研究発表会
大正 3.3.31	東京市小石川区 明化尋常小学校と改称	21.11.27	文京区教育研究協力校(社会科・生活科)発表
9.4.8	第 9 代校長 杉田 幸次郎 着任	22.4.1	第 28 代校長 古沢 孝男 着任
昭和 2.9.13	第 10 代校長 中村 静三郎 着任	23.7.17	器楽部・東日本大震災復興支援日比谷吹奏楽祭出演
5.8.	第 11 代校長 塚田 善四郎 着任	24.4.1	第 29 代校長 水野 久美恵 着任
12.3.31	現在の校歌完成	24.10.15	明化くすのき祭創設
16.4.1	第 12 代校長 宮川 菊芳 着任	26.1.19	NHK 俳句大会ジュニアの部で「大賞」受賞
18.7.1	東京市明化国民学校と改称	26.11.15	開校 140 周年記念式典・祝賀会
19.8.15	東京都明化国民学校と改称	27.4.1	第 30 代校長 溝畑 直樹 着任
20.5.25	宮城県玉造郡鳴子町に疎開	27.11.13	東京都言語能力向上拠点校研究発表会
20.10.17	戦災により木造校舎消失	28.4.1	東京オリンピック・パラリンピック教育推進校
21.4.1	鳴子疎開地より帰校	28.4.1	日本の伝統文化教育推進校(JETプログラム)
22.4.1	第 13 代校長 武藤 良吉 着任	29.9.2	夢・未来プロジェクト(競泳銀メダリスト大西順子)
26.3.6	東京都文京区立明化小学校と改称	30.12.14	東京都人権尊重教育推進校発表会
27.4.1	国語の東京都研究指定校として研究発表	令和 2.4.1	第 31 代校長 熊倉 勝 着任
32.4.1	第 14 代校長 原島 好文 着任	仮設校舎完成	
33.12.11	第 15 代校長 堀内 頌閣 着任	校舎改築工事着工	
36.4.1	都音楽協力校として公開授業発表	I 期工事(新体育館棟)完成	
41.5.6	第 16 代校長 川合 八郎 着任	旧校舎屋上アート完成	
42.4.1	明化幼稚園併設	旧校舎とのお別れ会開催	
46.4.1	第 17 代校長 小沼 良輔 着任	開校 150 周年記念式典・祝賀会	
49.9.26	第 18 代校長 佐々木 定夫 着任	第 32 代校長 佐藤 喜裕 着任	
49.12.3	開校 100 周年記念碑完成(同窓会寄贈)	東京都「デジタルを活用したこれからの学び」実践校 指定	
50.4.1	文京区研究指定校(国語)発表	II 期工事(小学校校舎・育成室)完成	
54.4.1	第 19 代校長 橘田 豊夫 着任	新校舎での学校生活を開始	
57.11.9	第 20 代校長 柳下 昭夫 着任	III 期工事(仮設校舎解体及び校庭整備)開始	
59.5.9	文京区研究協力校(特別活動)発表		
61.4.1	バーバラ・ブッシュ 米副大統領夫人 来校		
	第 21 代校長 吉倉 煌 着任		

